2 当番弁護士制度の現状

当番弁護士制度は、まだ勾留決定されていない被疑者や被疑者国選弁護制度対象外事件の被疑者が弁護士にアクセスするための重要な役割を果たしている（2016年5月に刑事訴訟法が改正され、2018年6月1日、被疑者国選弁護制度の対象事件が勾留全件に拡大された。）。

次の表は、各弁護士会における当番弁護士制度の運営状況を一覧にまとめたものである。

資料2-1-1-3 当番弁護士制度全国一覧表

		実施時期	平日形態	休日		当番弁護士登録状況（2022.2.1）			受任義務	委員会派遣制度日付は実施日	
				形態	運営	登録数（人）	登録割合	弁護士数（人）			
道弁連	札　幌	1991/04/01	名・待	名・待	a	424	51.5%	824	有	有	1993/03/23
	函　館	1992/04/01	待	待	b	29	54.7%	53	—	有	1999/01/01
	旭　川	1992/04/01	待	待	b c	48	60.0%	80	—	—	
	釧　路	1992/10/01	名	待	b	53	65.4%	81	—	有	1996/08/01
東北弁連	仙　台	1992/05/18	待	待	a d	256	53.6%	478	有	有	1995/02/01
	福島県	1992/04/01	待	待	d	156	79.6%	196	—	有	1999/04/01
	山形県	1992/04/01	＊待	＊待	b d	87	83.7%	104	有	有	1999/04/01
	岩　手	1992/06/01	名・待	待	b	53	52.5%	101	—	有	1999/04/01
	秋　田	1991/06/01	待	待	b	55	72.4%	76	—	有	1999/04/01
	青森県	1992/07/01	待	待	d	58	53.2%	109	有	有	1999/10/01
関弁連	東　京	1991/06/01	待	待	a	2,714	31.1%	8,727	有	有	1994/01/15
	第一東京	1991/10/01	待	待	a	988	16.4%	6,040	有	有	1994/01/15
	第二東京	1991/06/01	待	待	a	920	15.2%	6,044	—	有	1994/01/15
	神奈川県	1991/05/15	待	待	d	889	51.8%	1,717	有	有	1998/12/01
	埼　玉	1992/01/06	待	待	b	262	28.4%	924	—	有	1992/01/06
	千葉県	1992/04/01	名・待	名・待	b d	331	39.9%	830	—	有	1999/04/01
	茨城県	1992/02/01	＊待	待	b	161	54.6%	295	—	有	2001/02/16
	栃木県	1991/09/01	待	待	b	178	78.4%	227	—	—	
	群　馬	1992/08/01	名	名	b	157	50.0%	314	—	有	2000/05/20
	静岡県	1991/07/01	待	待	b	338	65.0%	520	有	有	1994/04/01
	山梨県	1992/05/11	待	待	a	58	46.0%	126	—	有	1999/03/01
	長野県	1992/04/01	名	名	d	170	65.9%	258	—	有	2006/10/02
	新潟県	1991/11/20	待	待	b	130	45.6%	285	有	有	1996/02/06
中部弁連	愛知県	1991/04/01	待	待	a	1,145	56.1%	2,040	—	有	2000/10/01
	三　重	1992/10/01	待	待	b	134	69.4%	193	—	有	2016/03/17
	岐阜県	1991/05/01	待	待	d	152	71.7%	212	有	有	1998/04/01
	福　井	1992/10/01	待	待	e	106	86.9%	122	—	有	1999/01/24
	金　沢	1992/07/06	待	待	b	112	60.9%	184	有	有	1999/09/01
	富山県	1992/04/01	待	待	b	85	68.0%	125	有	有	2019/06/20
近弁連	大　阪	1992/03/01	待	待	d	1,520	32.0%	4,746	有	有	1993/02/01
	京　都	1992/03/01	待	待	＊a d	423	51.8%	817	—	有	1993/09/01
	兵庫県	1992/01/06	名・待	名・待	b d	426	43.2%	987	有	有	1998/02/20
	奈　良	1990/11/01	待	待	b	83	45.6%	182	有	有	1994/07/01
	滋　賀	1992/07/01	名	名	b	104	65.4%	159	—	有	2010/04/01
	和歌山	1991/04/01	＊待	待	b	109	75.7%	144	—	有	1998/10/04
中国弁連	広　島	1991/04/01	＊待	待	a b	256	41.9%	611	有	有	1993/09/01
	山口県	1992/04/01	待	待	b	108	60.7%	178	—	有	2012/04/12
	岡　山	1991/02/01	名・待	待	b d e	159	39.5%	403	有	有	1999/04/01
	鳥取県	1991/12/01	名	待	b	47	69.1%	68	—	—	
	島根県	1992/03/13	＊待	待	c b	57	69.5%	82	—	有	2018/11/06
四国弁連	香川県	1992/03/10	名	待	b	72	39.3%	183	—	有	1999/04/01
	徳　島	1992/01/07	待	待	b	60	69.8%	86	—	有	1999/12/17
	高　知	1992/07/01	待	待	e	34	36.6%	93	有	—	
	愛　媛	1992/02/01	待	待	b	134	83.8%	160	—	有	2000/04/01
九弁連	福岡県	1990/12/01	待	待	a d	895	63.5%	1,409	有	有	1990/12/01
	佐賀県	1992/01/06	待	待	b d	70	66.7%	105	—	有	1998/11/01
	長崎県	1992/04/01	待	待	b d	81	50.0%	162	有	有	1999/09/01
	大分県	1990/09/14	名	待	b	123	75.0%	164	—	有	1998/04/01
	熊本県	1991/03/11	待	待	e	121	42.9%	282	—	有	1999/04/01
	鹿児島県	1991/05/01	待	待	b d	73	32.9%	222	—	有	1998/03/24
	宮崎県	1992/04/01	待	待	a	81	57.0%	142	有	有	1997/04/01
	沖　縄	1991/10/15	待	待	b	105	37.4%	281	—	有	1996/04/26
合　計			待　45 名　12	待　49 名　6		15,390	35.8%	42,951	有　21 無　31	有　48 無　4	

【注】1．平日形態：基本的に本部の形態を指す。札幌は待機制と名簿制の併用。山形県は4支部につき名簿制。千葉県は一部警察署（6か所）について名簿制。その他の警察署は待機制。茨城県は下妻支部につき名簿制。兵庫県は支部により異なる。和歌山は田辺支部につき名簿制。広島は尾道地区・三次地区につき名簿制。岡山は県北（津山、新見、美作等）では別に名簿を作成して運用。島根県は松江地裁、出雲支部管内及び浜田支部管内につき待機制。

2．休日形態：基本的に本部の形態を指す。札幌は待機制と名簿制の併用。千葉県は一部警察署（6か所）について名簿制。その他の警察署は待機制。和歌山は田辺支部につき待機制。

3．休日運営：a連絡担当者が受け付けて、出動弁護士に出動を要請、b留守番電話で受け付けて、出動弁護士が録音を聞いて出動、c留守番電話による受付のみを行い、出動は平日、d留守番電話で受け付けて、録音を聞いた連絡担当者から出動弁護士に出動を要請、e当番専用携帯電話を担当弁護士が持ち回りし、出動。旭川は、旭川市内の2か所の警察署については運用bとする。
「＊」印は、支部や日によって異なる（土・日・祝・年末年始・連休でそれぞれ取扱いが異なる）場合等。

4．当番弁護士登録数及び弁護士数は、2022年2月1日現在。左記以外の情報は、同年4月1日現在。